

フューエルポンプモジュール脱着作業要領

機種名	型式
LEGEND	KC2

■ 使用する部品番号

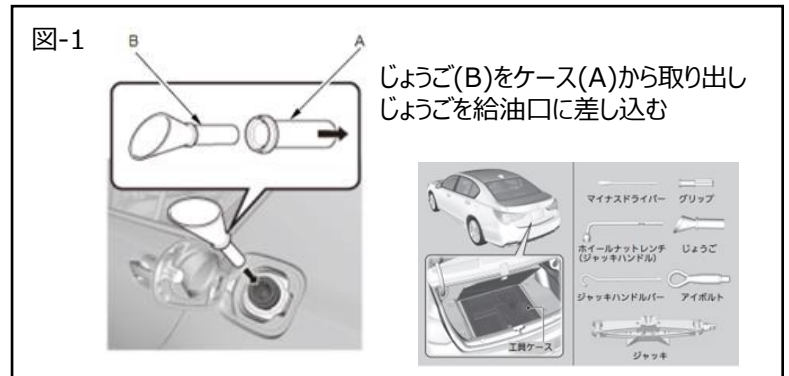
型式・タイプ	部品番号
KC2 全車共通	06170-TY3-305

1. 最初にフューエルメータの燃料残量を控えておく。

2. POWERスイッチはOFFモードで、フューエル
フィルターリッドを開け、車載工具のじょうごを
差し込む。

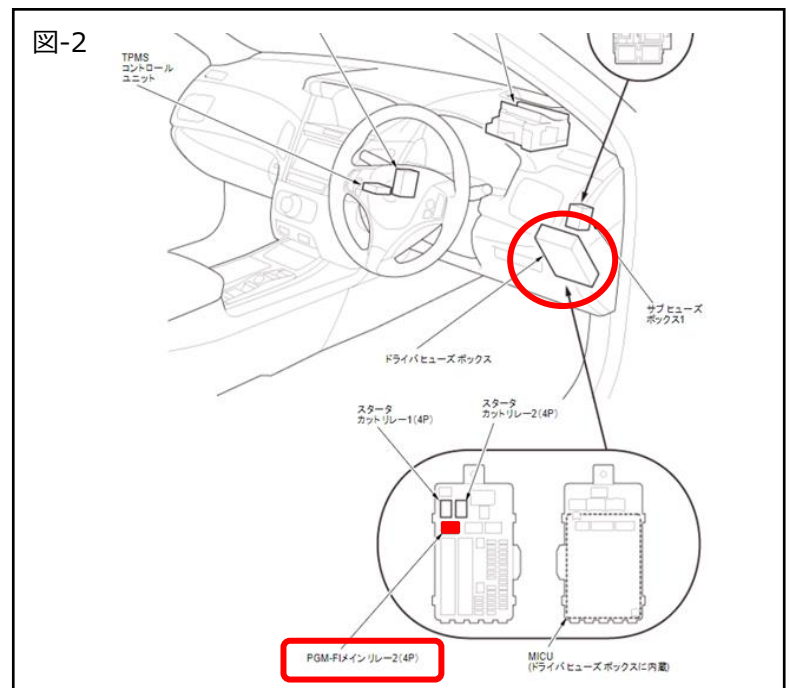
図-1参照

※ じょうごはトランク内のツールトレイに
収納してあります。



3. PGM-FIメインリレー-2を取り外す。

図-2参照



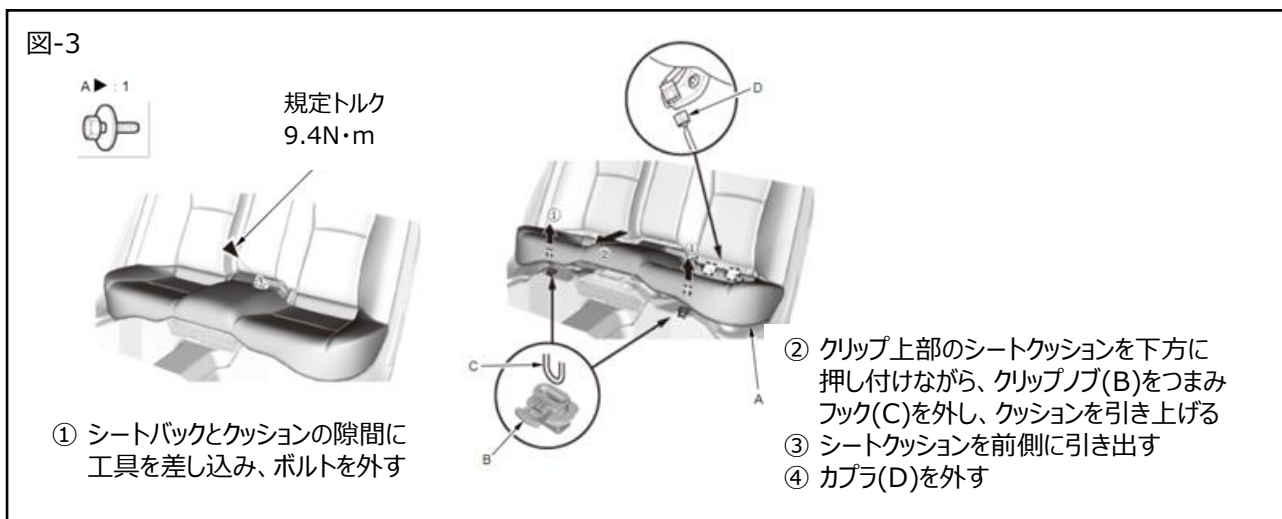
4. メンテナンスモードでエンジンを始動し、残存燃圧を抜く。

- ① ブレーキペダルを踏まない状態で、POWERスイッチを一度押し、ONモードにする。
- ② プレンジでアクセルペダルを全開位置まで2回踏み込んでから、ペダルから足を離す。
- ③ ブレーキペダルを踏み、Nレンジにする。
- ④ アクセルペダルを全開位置まで2回踏み込んでから、ペダルから足を離す。
- ⑤ ブレーキペダルを踏み、Pレンジにする。
- ⑥ アクセルペダルを全開位置まで2回踏み込んでから、ペダルから足を離す。
- ⑦ ブレーキペダルを踏み、POWERスイッチを押すと、メンテナンスモードでエンジンが始動する。
- ⑧ ガス欠でエンストするまでアイドリングで放置し、エンストしたらPOWERスイッチをOFFモードにする。

5. 手順3.で取り外したリレーを元の位置に取り付け、バッテリーのマイナス端子を外す。

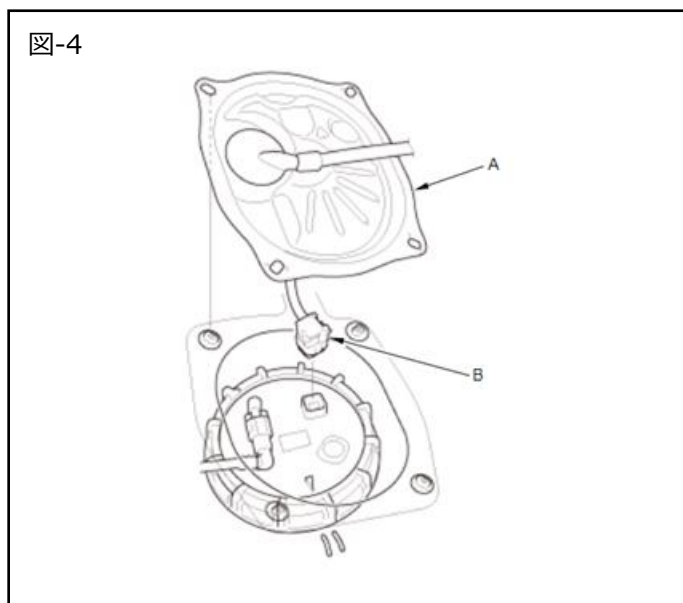
6. Rrシートクッションを取り外す。

図-3参照



7. メンテナンスリッド(A)を外し、フューエルポンプ
モジュールからカプラ(B)を外す。

図-4参照

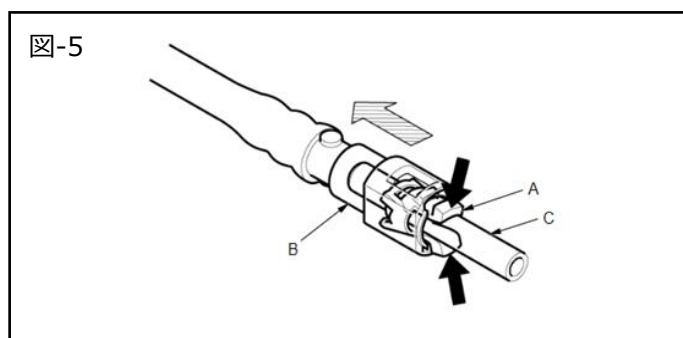


8. フューエルポンプモジュール上面および周辺部のホコリをウエスなどで除去する。

9. フューエルチューブのクイックコネクタ周辺に
ウエスを巻き、クイックコネクタリテーナ(A)を
指でつまみながらチューブを外す。

図-5参照

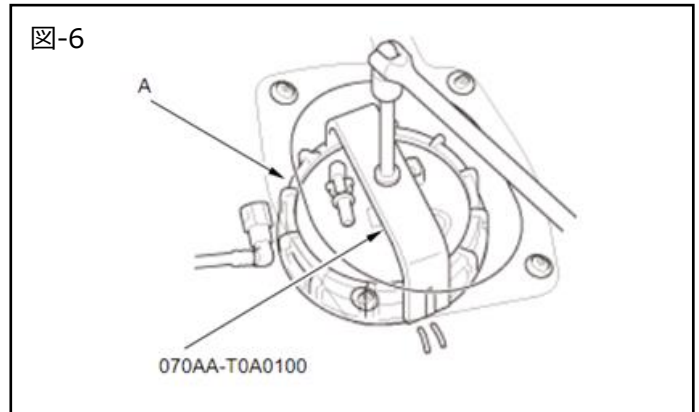
※ クイックコネクタのリテーナは分解時交換



10. 指定のロックナットレンチを使用し、ロックナット(A)を外す。

図-6参照

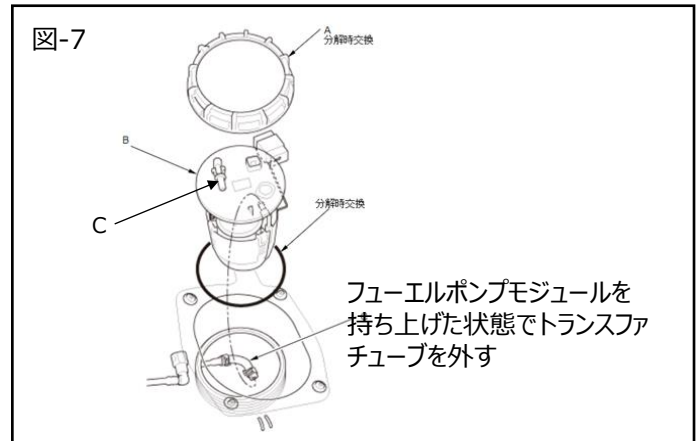
- ※ ロックナットレンチ部番
070AA-T0A0100
- ※ ロックナットは分解時交換



11. フューエルポンプモジュールをフューエルタンクから引き出し、取り外す。

図-7参照

- ※ フューエルポンプモジュールを引き出した向きを覚えておくこと
- ※ センダユニットのフロートアームを変形させないこと
- ※ 車室内にガソリンを垂らさないよう、オイルパンなどに受けて、車外に移動すること
- ※ 古いパッキンを外し、ニッパなどで切る(再使用防止)
- ※ フューエルポンプモジュールから古いリテーナ(C)を外し、新品のリテーナを組付ける。



12. フューエルポンプモジュールを分解し、ポンプモータを交換する。

- ※ 参照するポンプ交換作業要領 ➡ C
- ※ 「再利用不可部品 廃棄確認シート」に交換した全ての部品を乗せ、写真を撮影すること。
図-8参照
- ※ フューエルポンプモジュールが組みあがった時点で整備主任者に中間検査を依頼し、誤組がないことを確認してもらうこと。



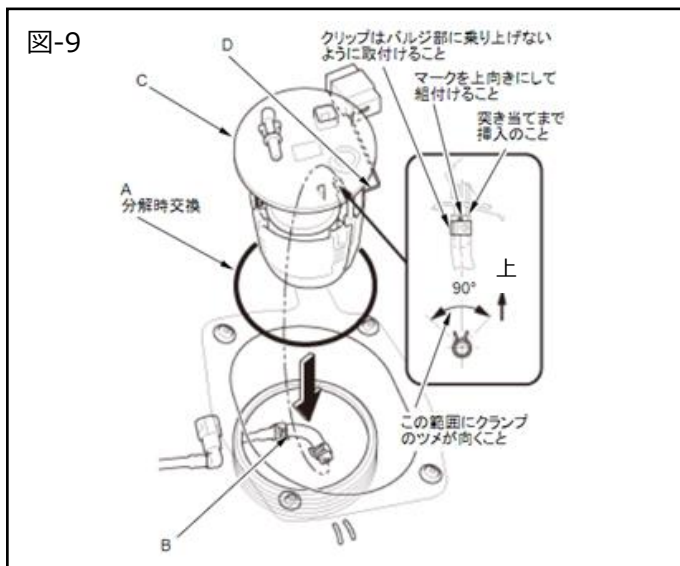
13. フューエルタンクのネジ上部に新品のパッキンを組付け、フューエルポンプモジュールをタンク内に挿入する。

- ※ パッキンの位置は図-11参照
- ※ センダユニットのフロートアームを変形させないように注意すること。

14. トランスファチューブ(B)を取り付ける。

図-9参照

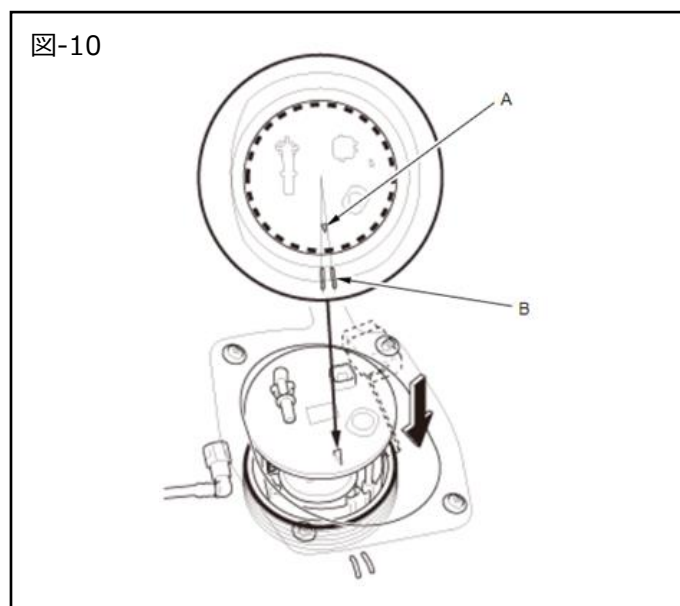
- ※ トランスファチューブは中間検査で確認できないため、確実に取り付けること。
- ※ チューブクランプの位置と向きは図中の指示通りに組み付けること。



15. フューエルポンプモジュール上面の合わせマーク(A)をタンク側の合わせマーク(B)に合わせ、パッキンが密着するまで垂直に押しつける。

図-10参照

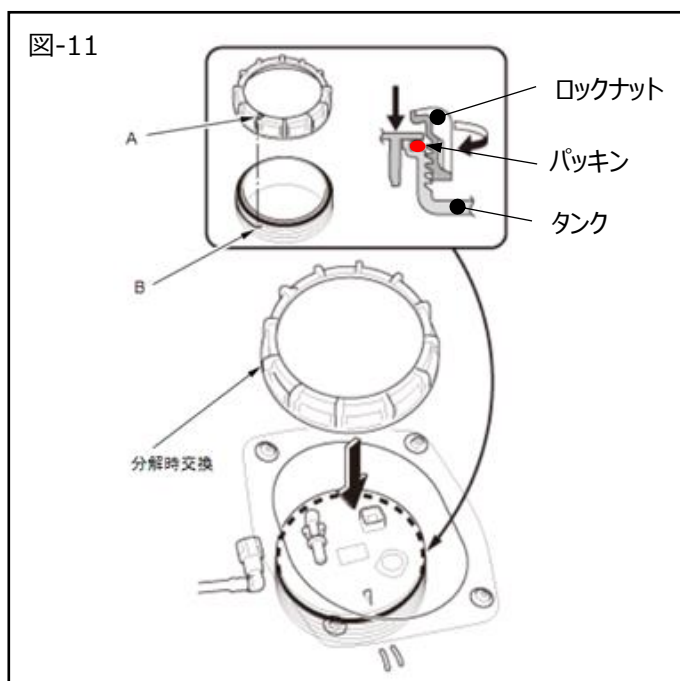
- ※ パッキンがずれていないことを十分に確認すること。



16. 新品のロックナットのマーク(A)とタンク側のネジの始まり(B)を合わせて、ロックナットを手でねじ込む。

図-11参照

- ※ フューエルポンプモジュールを押しつけながら、パッキンがずれないように作業すること。
- ※ タンクの膨潤によりロックナットが嵌りにくい場合がありますが、斜めにねじ込まないように十分に注意すること。



17. 指定のロックナットレンチを使用し、ロックナットを既定トルクで締めつける。

※ ロックナットレンチ部番
070AA-T0A0100

※ ロックナット規定トルク
100N・m

※ ロックナット締め付後、手順15の合わせマークが合っていることを確認すること。

18. クイックコネクタ(A)とカブラ(B)を接続する。

図-12参照

※ 接続はカチッと音がするまで確実に押し込み
その後、軽い力で引っ張り、抜けないことを
確認すること。

19. バッテリのマイナス端子を接続する。

20. ブレーキペダルを踏まない状態でPOWERスイッチを
1回押し、約2秒間ONモードにしてから、OFFモード
にする。

21. 手順20.の操作を3回以上繰り返し、クイックコ
ネクタ部からガソリンが漏れていないことを確認する。

22. 整備主任者に中間検査を依頼する。

23. 整備主任者は下記項目を確認すること。

① クイックコネクタ部からガソリンが漏れていない
ことを確認する。

② フューエルポンプモジュールとロックナットの隙間に
シクネスゲージを差し込み0.04mmが入らない
ことを確認する。

図-13参照

※ 0.04mm以上の隙間が1か所でもある場合は
ロックナットが斜めに入っているため、タンク交換
が必要となります。

③ クイックコネクタ、カブラ、バッテリー端子の接続を確認する。

④ エンジンを始動し、フューエルメータが作業前の指示値を表示していることを確認する。

24. 手順23.の中間検査が完了後、メンテナンスリッドを取り付け、Rrシートクッションを組付ける。

25. 給油口からじょうごを外し、フィルターリッドを閉じ、じょうごをツールトレイに戻す。

26. 整備主任者に完成検査を依頼し、作業者の作業は完了です。

図-12

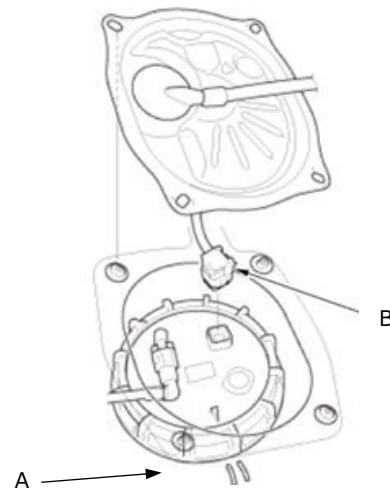


図-13



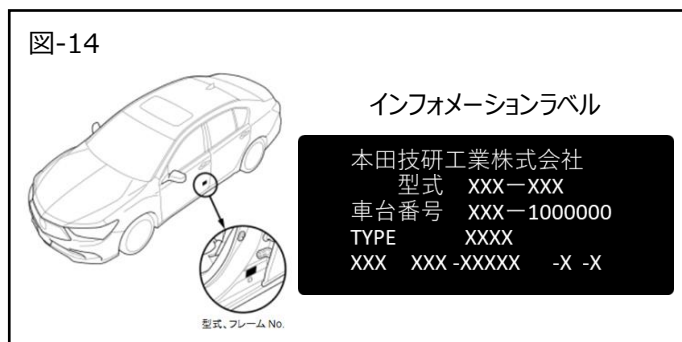
シクネスゲージは4方向に差し込んで確認すること

27. 整備主任者は下記項目を確認する。

- ① 分解した部品が確実に取付られていること。
- ② 分解した部品の機能が正常に作動すること。
- ③ 車両をリフトアップし、フューエルタンクにガソリン漏れの痕跡が無いこと。
- ④ DTCスキャンツールを接続し、DTCストアの有無を確認し、ストアされている場合は消去する。

28. インフォメーションラベルの写真を撮影する。

図-14参照



29. ホンダ販売店への請求書と作業完了報告書を作成し、印刷してください。

30. 作業依頼元のホンダ販売店へ完成連絡を行う。

※ 手順29.で作成した請求書と作業完了報告書をホンダ販売店へ必ず渡してください。